

平成29年度 P T A本部役員

平成29年度P T A総会において、下記のP T A本部役員が承認されました。

会 長：岡野 衛
副会長：吉田要司 彦坂直子 江寺 弘 鮎川光義 (校長)
監 事：赤塚 誠 上田文江 猪野瀬 武
書 記：瀧川典男 小倉 弘



平成29年度P T A会長を務めさせていただくことになりました岡野と申します。

平素は本校P T A活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。1900年に創設し、今年で117年目の伝統ある竜ヶ崎第一高等学校のP T Aでの重責を感じております。先生方に協力していただきながら役員の方々とは力を合わせて活動に取り組んでまいりますので、更なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、少子高齢化、高度情報化、グローバル化の進展という現状に加え、第4次産業革命とも言われる人工知能(A I)やロボット技術の発展に伴い子供たちを取り巻く社会環境が大きく変容し、価値観も多様化する中、子供たちが、豊かな社会性と優れた想像力を養い、自ら責任を持って行動出来る人間として成長していくためには、子供たちの生活の場である家庭・学校・地域社会が、それぞれの役割と責任を自覚し、子供たちが意欲を持って生き生きと充実した生活を送るように支援する必要があります。

子供たちにとって今は勉強だけでなく、部活動に熱中し、友人と語り合い、自問自答し進むべき道を模索する大切な時期です。さらに、この時期の子供たちは、多くの知識に加え、感性も磨かれ、難しい年頃です。また、この時期は自己確立・自主自律を学び、成長期の大切な『子離れ』『親離れ』の時期でもあります。それ故に、この3年間は社会人として巣立つ前の子供に、生き方や価値観などを伝えて行ける最後の時期であると思います。

では、どのように伝えて行くべきなのでしょう。私としては、先生方の『教え』と私たち親の『育み』により、子供たちに成長してもらうためP T Aの場を、先生方と保護者、また保護者同士の交流の場として、おおいに語り合いその伝え方等を話し合っただけであればと考えております。今年度も、各支部で『茶話会』を企画していただいておりますので、多くの保護者の皆様にご参加いただき、情報交換や意見交換をしていただき、この活動を通して竜ヶ崎第一高等学校P T AならではのP T A活動の場として目指して行きたいと思っております。P T A役員をはじめとする保護者の皆様方のご理解とご協力を得ながら、子供たちのためのより良い教育環境づくりのためにも、P T A主催の行事に保護者の皆様の積極的なご参加と、様々な機会に率直なご意見や考えを、お聞かせいただくことをお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。